

本日も

樹楽日和



樹楽『団らの家』白石
管理者 古賀 弘子

早いものでオープンから二ヶ月
ご利用者様の数も少しずつ増えてきています。
「ここに来られるごてなつてよかった」の声を励みに“ここでしか出来ないことを”と思い、スタッフ全員で考え、見学や買い物などの外出や
フラワーアレンジ、保育園児との交流など様々な体験をしていただこうと
計画を立てています。
先日も九州新幹線を見に行く為に玉名駅まで行きました。
薬草料理を食べたり足湯に入って楽しく過ごしていただきました。
毎月30日は桜花の日として色々なイベントを行っています。
校長製作による窯の完成も楽しみです。
「今日はたいがい楽しかったばい」の一言に勇気づけられ
ご利用者様、スタッフに感謝・感謝です。

きらくに楽しく、きらくにマイペースで、きらくに一步はじめましょ。

樹楽通信

平成 23年 9月1日
《第8樹》



写真:《フラワーアレンジメント》樹楽『団らの家』白石

【9月 樹楽:新施設紹介】



樹楽『団らの家』赤羽
〒115-0045 東京都北区赤羽 2-37-2
Win KIDOURA VI 1F
TEL&FAX. 03-6323-5295
■ 赤羽駅・赤羽岩淵駅より徒歩約8分

赤羽から一言『杉並宮前につづき、赤羽に「団らの家」を開所できたことをうれしく思います。この赤羽でご利用者様との新しい出会いと、いっしょに過ごせる日々を楽しみにしております。』

《2011年 10月開所の樹楽》



樹楽『団らの家』北城
〒943-0824
新潟県上越市北城町1-3-31
●●025-520-8440
FAX 025-520-8442



樹楽『団らの家』葉山
〒240-0113
神奈川県三浦郡葉山町長柄385
●●046-876-3807
FAX 046-876-3807

【樹楽】の運営方針

1. 利用者様を第一と考え、常に『快適で満足していただける』空間を提供いたします。
2. 『利用者様とご家族の声』を大切に、常に『要望にお応えできる』サービスを提供いたします。
3. 『利用者様の気持ちを癒し』常に楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力いたします。

施設見学は随時受付けております。ご希望の方は各樹楽へお電話ください。

- | | |
|---|---|
| □ 樹楽『団らの家』香里園
〒572-0007 大阪府寝屋川市美井町3-1 ●●072-833-6060 | □ 樹楽『団らの家』門真東
〒571-0002 大阪府門真市岸和田3-9-25 ●●072-885-8800 |
| □ 樹楽『1日3時間のフィットネス』門真
〒571-0041 大阪府門真市柳町12-22 KIRA古川橋 1F ●●06-6904-7272 | |
| □ 樹楽『団らの家』大泉学園
〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町8-1-20 ●●03-5935-6262 | □ 樹楽『団らの家』若久通り
〒815-0042 福岡県福岡市南区若久4丁目8-15 ●●092-561-8828 |
| □ 樹楽『団らの家』杉並宮前
〒168-0081 東京都杉並区宮前 3-5-3 ●●03-5930-1743 | □ 樹楽『団らの家』小垣江
〒448-0813 愛知県刈谷市小垣江町上38番 ●●0566-78-3927 |
| □ 樹楽『団らの家』私市
〒576-0033 大阪府交野市私市 6-30-9 ●●072-892-7559 | □ 樹楽『団らの家』本郷
〒465-0024 愛知県名古屋市中区本郷1丁目-248-1 ●●052-768-6213 |
| □ 樹楽『団らの家』千代ヶ丘
〒215-0005 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘 9-8-2 ●●044-455-5441 | □ 樹楽『団らの家』ひの
〒858-0923 長崎県佐世保市日野町 1775番地6 ●●0956-88-7376 |
| □ 樹楽『団らの家』西の宮
〒320-0064 栃木県宇都宮市西の宮1丁目16番3号 ●●028-680-5189 | □ 樹楽『団らの家』白石
〒861-5264 熊本県熊本市白石町698番地 ●●096-223-5340 |
| □ 樹楽『団らの家』赤羽
〒115-0045 東京都北区赤羽2-37-2 Win KIDOURA VI 1F ●●03-6323-5295 | |

コラム あいえんきえん 愛縁樹縁



株式会社 アクロス
代表取締役 原田 健一

介護にもいろいろあります。——
私たちが実施しているデイサービスもその内の一つです。
その他にも、訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、デイケア、ショートステイ、短期入所療養、小規模多機能型、グループホーム、介護保険施設、有料老人ホーム、高専賃などなど……枚挙にいとまがありません。自宅に帰っていただくことを目的にした介護や医療介護から看取り介護まで、本当に様々です。
今後、3500万人以上に膨れ上がる高齢者人口、1000万人以上になるであろう介護を必要とされる高齢者を240万人のスタッフでお世話する事になります。現在、120万人のスタッフが400万人の利用者さんのお世話をさせていただいておりますが、スタッフの不足感ほどの施設でも感じています。一方で新卒のフレッシュマンが介護業界への就職を真剣に検討していますし、毎年多くの新卒の元気な若者が介護に対して熱い思いを持って入ってくれています。しかし、それでも人材不足は否めません。人材の確保をどうするかが介護の実態に即したサービスの開発と共に大切になります。以前、このコラムにも書きましたが、看護師さんは全国に120万人の方が医療に従事されています。医療の現場においても看護師不足が深刻化しています。私が思うには、介護業界も今後ますます「介護」という事業領域の中だけで人材を確保することは困難になるのではと思います。介護を福祉事業としてのみと捉えるのではなく、「ホスピタリティ」提供業と捉えて、介護の枠を超えた事業展開を行い、人材の確保に努める必要があると思います。例えば、フィットネス型デイサービスを展開することにより、介護・介助での就労ではなく、フィットネス・リハビリに興味がある方の就労意欲を高めることができたりするように、今の事業領域に止まることなく、利用者さん本位の視点をずらさずに、介護保険の枠を超えて考えていく必要があると思います。当社も2年前からパワーリハビリのノウハウ構築を行っています。そろそろリハビリを併設したデイサービスの提供を開始しようと考えています。全ては利用者さんのために。この視点を皆さんと一緒に持ち続け、様々なサービスの開発に取り組みたいと思います。



樹楽に関する総合問い合わせ 0120-03-1400

株式会社 アクロス
社団法人 日本フランチャイズチェーン協会 正会員
社団法人 大阪府介護保険経営者連絡協議会 正会員

〒584-0053 大阪府枚田市江の木町17-1 コンパノビル 8F TEL. 06-6339-8400 FAX. 06-6339-5678



今年の夏は楽しかったね♪ また、お祭りしようね★



おまつりメニューいっぱい♪
香里園



コイン落とし…難しいのよコレ
香里園



お天気の良い日におでかけ



だから今日は特別お弁当なのです
若久通り



あま〜いスイカ♪



残りは私達が『いただきます♪』
小垣江



子供たちと記念撮影☆
小垣江



え!? どうなってんの! マジックショー
香里園



真剣勝負です!! 負けれません!
大泉学園



今日は良い日だなあ◎
大泉学園



がんばれがんばれ! コイン落とし



お祭り楽しかったあ! 記念撮影
門真東



わたあめ上手につくれるかな?
西の宮



スタッフも気合いが入ります
フランクフルト早くできないかなあ



保育園児がかわいく歌ってくれました
白石



町内会のお祭りにいったよ〜!
白石



みんなで『豆だんご』作りしました!



完成! おいしそうでしょ?
白石



みんなで楽しんだスイカ割〜!!
千代ヶ丘



みんなが集まり楽しんだ夏祭り
千代ヶ丘



ご家族と一緒に魚釣りゲーム♪
千代ヶ丘

《写真: 沖縄の夕暮れ》

まだ暑い日もありますが、気がつけば日が暮れるのも早くなりましたね。だんだんと秋が深まり、セミの鳴き声から秋の虫の音色にかわり…つい耳を傾けたくなる季節です。



◆ 9月の行事 ◆ 長月 (ながつき)

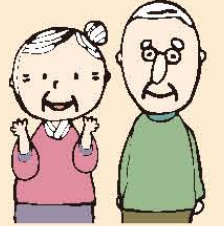
日の暮れが早くなり、秋が深まる頃。夜が長い「夜長月 (よながつき)」や秋雨が降る「長雨月 (ながめつき)」が略されたといわれます。

9月の季語: 初秋/新秋/新涼/清涼/孟秋
・初秋の候・新秋のみぎり・秋の七草も咲きそらい
季節の歳時記より

敬老の日

9月19日 (月曜日)
いつもいたわりの気持ちで

敬老の日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」国民の祝日です。樹楽では当然、利用者様が主役です。敬い、感謝の気持ちを込めてお祝いをし、楽しく特別な日にしましょう♪



秋分の日

9月23日 (金曜日)
先祖を尊びしのぶ日

「秋分の日」には、昼と夜の長さがほぼ等しくなります。彼岸の中日でもあり、「寒さ暑さも彼岸まで」といわれるように、寒気や暑気が一段落してしのぎやすくなる頃です。祝日法では、秋分の日は「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日とされています。

お月見

収穫を月に感謝する日

中国では陰暦の7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋といい、それぞれの満月を観賞する風習がありました。ちょうどこの頃、農作物の収穫期の直前にあたることから、豊作を願う収穫祭の意味合いが強まってきました。月に対する信仰も強く、満ちては欠け、欠けては満ちる月を生命の根源と考え、たくさんの農作物を供えて豊作を祈願したようです。